



2022.10.07.

第4年度 CCF 事業計画

理事長 宮原信孝

第4年度（22.8～23.4）事業計画

1) ビジョン 1「現代社会に山積みになっている社会課題解決に参画」

*** ちくご川関係地域にとっての社会的課題：「地域の持続可能化」**

a) 視点 1「次代を担う若者の社会への参加」

○ 孤立解消に向けての手法

- ・ 困難を抱える子ども若者の孤立解消と育成に取り組む団体・個人を支援
- ・ 困難を抱える人たちが地域社会に居場所を持つことができる社会環境の創造

○ 具体策

① 子ども若者応援助成事業

・ 子ども若者応援助成の継続

第5年度*：200万円（6件程度、期間23.4～24.3）

23.2までに、応募要綱確定。

23.5までに100万円の寄付を集める。

- 今年度はりんどろ LC よりの寄付は難しい。
- 他の LC、ロータリークラブにあたる。
- クラウドファンディング検討

23.5 末ぐらいまでに助成団体を決定。

伴走支援の実施。

* 財団年度を 8/1～7/31 から、4/1～3/31 に変更予定。第4年度は 23/3/31 まで。

② 休眠預金等活用事業

・ 2020 年度通常枠事業（20.11～24.4）＜助成規模約 3500 万円＞

- － わたしと僕の夢（久留米）：貧困家庭の子ども若者の孤立解消と育成
- － みんなの家みんなか（朝倉）：養護施設退所者の居場所・故郷づくりと過疎地支援
 - ・ 第3年度に計画以上の成果があった。
 - ・ 特に私と僕の夢は計画を発展させ就労にも力を入れていく。

・ 2021 年度通常枠事業（22.3～25.2）＜助成規模約 4200 万円＝3 団体×1400 万円＞

- * テーマ：誰一人取り残さない居場所づくり～学びの場における孤立解消と育成
- － 家庭教育研究機構（飯塚）：校内フリースクール創設
- － 未来学舎（久留米）：居場所、学び、就職の総合的学びの場の創造
- － 箱崎自由学舎 ESPERANZA（福岡）：
 - FS への行政助成実現に向けてのネットワークづくり及びアドボカシー



- ・ 22.12 までに事前評価完成
 - ・ 23.3 に振り返りの会
- ・ **2022 年コロナ随時枠事業（22.9～23.8）**
宮崎文化本舗を幹事団体とするコンソーシアムに参加。助成 3000 万円規模。P0 経費 200 万円が別途入金予定。CCF は福岡県担当。9 月に結果判明。

③ その他事業

- ・ 自然災害支援拠点の設立の一環として、CCF 事務所隣接の倉庫を災害支援装備品倉庫化実現。これに加え、災害支援、伴走支援に必要な車両を年賀状寄付助成で取得する。

b) 視点 2「自然災害への対応」

○ ちくご川関係地域の自然災害被災者支援のための方策

① 災害支援基金の立上げと広報

- ・ 3 年度できなかつた基金立上げがスムーズに進むような体制を築く。
- ・ 常に HP で広報できるよう柳田理事が対応。

② 被災者支援団体の支援

- ・ 特定非営利活動法人 YNF との協働を推進。拠点の提供と倉庫の活用。協定締結。
- ・ (公財) CIVIC FORCE 及び (社) 北部九州河川利用協会との協働関係構築・強化。

2) ビジョン 2「CCF 自身が主体的に公益を担う力を持つ」

a) 組織基盤の確立

① ファンドレイジングの強化

- ・ 企業・団体・個人への働きかけ：事業報告書を持ち理事・顧問等による企業回り等
→りんどう以外のライオンズクラブへの働きかけ
→ニュースレター送付継続
→支援者リストの整備
→HP 中の支援アピール・方法の更新。
- ・ 各種助成金の活用：年賀寄付金により車両購入に再度チャレンジ。
- ・ 受託事業：情報収集
- ・ 収益事業：
 - －円卓会議
 - －水曜勉強会を有料講座に移行する。
 - －他に？

② NPO 等支援ふるさと納税制度の採用を久留米市に働きかける。

- ・ 久留米の CSO（市民社会組織）と勉強会を始め、賛同団体とともに久留米市に働きかけを行う。市議会議員への働きかけ等

③ 人事体制の充実

- ・ 現体制を維持発展させる。



④ 公的な認証の取得

- ・非営利組織評価センターの評価認証に再度挑戦：22年11-12月に評価認証を受ける。
- ・公益財団法人化：評価認証取得後、申請作業開始。

b) 財団内人材の育成と協力ネットワークの構築

- ① 常勤プログラムオフィサー2名体制の強化。POをもう一人増やし、随時枠対応。
- ② 協力ネットワークの構築
 - ・助成先団体の関係強化。ネットワークをつくる。伴走支援がカギ。
 - ・(社)北部九州河川利用協会、(公財)CIVIC FORCEとの連携協定締結

◎ 事業スケジュール

事業等名	22.8~22.11	22.12~23.3	5年度	22.4~22.7
子ども若者応援助成	企業・団体働掛開始	公募要領更新	公募	審査採択・助成
休眠預金等活用事業				
・20年度通常枠	中間評価	23.3公開WS		伴走支援
・21年度通常枠	事前評価	23.3公開WS		伴走支援
・22年度随時枠	採択・契約・助成	伴走支援		伴走支援
自然災害支援拠点	協力団体増加	水害基金立上げ能力強化		拠点として確立
情報提供と意見交換				
・円卓会議	第2回開催	第3回開催		第4回開催
・社会課題講座	講座の設立	講座の実施		講座の実施
ファンドレイジング	22/10/24より企業働きかけ開始	→	→	→
NPO等支援ふるさと納税久留米市導入	CSOの結束づくり	市・市議会への働きかけ		
人的体制	現体制の強化			
公的認証の取得	22.12 評価認証取得	公益財団法人化申請準備		同申請
ネットワークづくり	○	→	→	→



5. 収支計画

ちくご川コミュニティ財団第4年度収支計画 概要版

単位:円

	項目	3(21-22)年度	備考
収入項目	休眠預金		繰越+新規入金
	ふるさと納税	0	未導入
	継続寄付		マンスリー
	子ども若者基金	1,000,000	新たな入金
	個別寄付	2,000,000	3年度実績から
	企業寄付	2,000,000	目標額
	遺贈		要検討
	寄付付商品	0	
	イベント	500,000	
	年賀状寄付	1,350,000	昨年同様
	日本財団助成	0	
	トヨタ財団助成	0	
	小計	6,850,000	
	講座	90,000	9回×10,000
	市民円卓会議	300,000	3回×100,000
	小計	390,000	
	合計	7,240,000	
支出項目	休眠預金等活用事業		資金計画に従って計算
	子ども若者応援事業	2,000,000	6件+諸経費
	その他事業	800,000	
	年賀状寄付	1,500,000	昨年同様
	休眠預金等活用繰越		3月末時点指定口座残額
	小計	4,300,000	
	人件費		PO3名+理事2+職員1+臨時雇い1
	事務所管理費	2,150,000	
	子ども若者基金繰入	1,000,000	寄付指定分?
	新規雇用費	0	
予備費			
小計	3,150,000		
合計	7,450,000		

(了)